

竜洋地区

「旧市町村の体育協会の合併」

「旧竜洋町」は、平成17年4月の1市3町1村の“平成の大合併”をもって、新しい「磐田市」となりました。

同様に各市町村の体育協会も4月1日付けをもって“対等合併”をして、新しく「NPO法人磐田市体育協会」となり、「竜洋町体育協会」も50年目ををもって発展的終焉を迎えました。

「17年度の竜洋支部」

体協組織の“合併協議”の中で、旧市町村の体育協会の組織的位置付けは「支部」とする、と決められており、旧竜洋町体育協会は「NPO法人磐田市体育協会竜洋支部」と生まれ変わりました。

「NPO法人磐田市体育協会竜洋支部」の役員としては、支部長 松下 孝、副支部長 山下安範・石田昌宏・大庭安一、そして社員として保科雅之、白井彰、上田靖彦、坂口弘和、大石成志、平田朗、古田政美、鈴木芳樹、大庭隆一、鷹野洋一、鈴木和夫、安達紘、深沢和彦、村井嘉平、鈴木達也、袴田真吉、佐藤文俊、鎌田要之助の22名が名を連ねました。

また、“竜洋支部”の組織としては、旧竜洋町時代の体協組織を踏襲して、竜洋地区内の地域スポーツ活動の実行部隊としました。

地域スポーツ行事として「第42回竜洋地区水泳大会」「第47回竜洋地区駅伝競走大会」、そして「健康マラソン」を開催しました。

「18年度の竜洋支部」

“地域スポーツ”は、運営する組織と費用が必要であるが、幸いにも竜洋支部としては「第43回水泳大会」や「第48回竜洋駅伝競走大会」を継続開催をする事が出来ました。

この年8月、磐田市は平成20年4月をもって「指定管理者制度」を導入し、市内スポーツ施設を民間業者に委託をする事が決まりました。

「19年度の竜洋地区」

「指定管理者制度」が導入された場合、竜洋地区内の地域スポーツ活動の中心的役割をもっていた“B&G海洋センター”の機能が失われ、地域スポーツを支える母体が無くなる。

その問題に対処する為に、地域スポーツに関して

「体協竜洋支部」が実質的に全面に立つ事となりました。さらに地域スポーツを恒久的に運営する為に“総合型地域スポーツクラブ”を検討する事としました。

「20年度の竜洋地区」

平成20年4月、スポーツ施設の指定管理者が決まり、地域スポーツの歴史としては新しい時代を迎えました。

また、11月に正式に自治会連合会、学校関係、子供会、磐田市体協、磐田市、体育指導員、住民代表、体協竜洋地区、等の人達を迎えて「竜洋スポーツクラブ設立準備委員会」を発足しました。